

普及センターNews No.203

愛知県海部農林水産事務所農業改良普及課

住所 〒496-8532 津島市西柳原町1-14 (海部総合庁舎内)

電話 0567-55-7611(ダイヤルイン) FAX 0567-25-8943

E-mail ama-fukyu@pref.aichi.lg.jp

ドローンを活用したスマート農業の導入が進む

令和3年6月現在、愛知県内でドローンを活用している経営体は123戸（各農業改良普及課把握分）で、うち121戸は水田作経営体です。海部管内でも水田作経営体28戸が導入しており、薬剤散布など作業の省力化や効率化につなげています。令和2年度には「農作業省力化設備緊急整備事業」を活用しての導入が増えました。

海部管内では水田作以外でも、れんこん産地協議会と海部れんこん組合がドローンの試験的利用を行っています。バッテリー交換の

手間は必要ですが、ラジコンヘリに比べ騒音が少なく、住宅に近い場所での利用など、今後の活用が期待されます。



レンコン栽培でのドローンの活用

坪枯れの原因となるトビイロウンカ（秋ウンカ）の防除

令和2年の稲作では、トビイロウンカの被害により各地で「坪枯れ」が確認されました。トビイロウンカは日本では越冬しません。毎年、梅雨時期にジェット気流に乗って中国大陸から日本に飛来し、増殖します。飛来時期が早く、飛来数が多いほどその後の被害が多くなります。

トビイロウンカの飛来時期や飛来数の情報を把握し、被害が予測される場合は早めの対処が重要です。ウンカ類に登録のある育苗箱施用剤を使用することで、早い時期に飛来したトビイロウンカを防除できます。本田防除は、その年の発生量を見て判断します。液剤や粉剤で防除する場合は、株元まで十分に薬剤がかかるように散布します。



「坪枯れ」の症状



成虫 左：短翅型、右：長翅型

(農業総合試験場提供)

「ネギハモグリバエ」別系統に注意！

幼虫がネギの葉を食害し、白いすじが残る「ネギハモグリバエ」に、従来よりも被害が大きくなる系統が発生し、令和2年に海部管内でも確認されました。

食害痕を見つけたら、適用のある薬剤で早期に防除します。蛹で越冬するので、前年に発生した畑では、定植時や土寄せ時に適用のある薬剤のかん注処理や粒剤処理を行うと効果的です。また、被害葉は発生源となるので畑に放置せず、ビニール等で覆って成虫が出ないように処分します。



上：食害を受けた被害葉

左：成虫（農業総合試験場提供）

愛知県立農業大学校 令和4年度学生募集

愛知県立農業大学校は、農業後継者や農業の担い手を育成する2年間の専修学校です。広大な施設で実践的な農業を学ぶことができます。Uターン就農希望者も歓迎します。

農学科：定員100名

専攻：鉢物・緑花木、切花、作物、果樹、露地野菜、施設野菜、酪農、養豚・養鶏
入試日程等の詳しい情報は、農大HPから入手できます。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>

■問い合わせは愛知県立農業大学校教育部学務科まで

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2

☎0564-51-1602



農業者組織の役員紹介（敬称略）

☆海部農業経営者の会

会長：堀田 耕司（津島市）

副会長：安田 憲竹（愛西町）

副会長：山口 義博（飛島村）

☆愛知県農村生活アドバイザー協会海部支部

支部長：三輪 幸子（愛西市）

副支部長：山田 京子（大治町）

☆海部青年農業士の会

会長：福田 真（弥富市）

副会長：山口 亮太（弥富市）

☆農村輝きネット・海部

会長：笹野 明美（あま市）

副会長：大内 浪子（愛西市）

☆海部4Hクラブ連絡協議会

会長：山田 宗平（愛西市）

副会長：加藤 真樹（津島市）

☆海部営農受託協議会

会長：原 宜延（あま市）

副会長：藤松 輝己（弥富市）

副会長：服部 貢（愛西市）